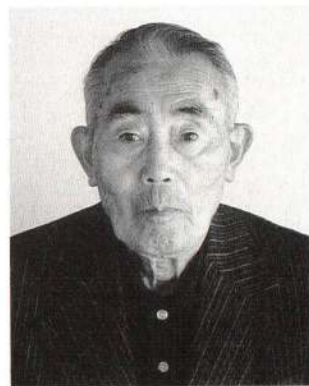


平成10年度市功労者に 3氏が決定

市政の発展に貢献し、その功績がきわめて顕著であると認められた個人や団体をたたえる大館市功労者表彰。10年度の功労者には3氏が決まりました。各分野で多大な功績のあった3氏に、心から敬意を表します。

上村 清氏

(長面袋・82歳)



昭和四十六年から十六年間、市議会議員として在職。この間、市議会議長、教育産業常任委員長、教育厚生常任委員長などの要職を歴任し、地方自治の発展に尽力されました。

また、昭和四十八年から四年間、大館市都市計画審議会委員として、都市計画税の新設に努力し、都市基盤整備の財源確保に大きな功績を残されました。

片岡 久一氏

(川口6区・78歳)



昭和十四年から四十年間、下川沿村警防団警備員、下川沿村消防団員、さらには大館市消防団員として消防業務に尽力されました。

特に、昭和三十七年の川口大火の後には、地域住民と一体となった火の元検査を実施するなど、火災件数を著しく減少させました。また、防災上の見地から、大火後の土地区画整理事業の実現にも大きく貢献されました。

一関 孝一氏

(小坪川原・73歳)



昭和四十四年から十二年間、市農業委員として、市の農業振興と地域農業の発展に尽力されました。

また、昭和二十六年から二十三年間、大館市消防団員として在職し、昭和四十八年から昭和四十九年までは副団長を歴任。災害防止と被害軽減のため、常に一線に立つて奮闘され、市民生活の安全確保と福祉の増進に大きく貢献をなされました。

市長リポート

No.156



平成10年度 予算について

今年度の予算編成におきましては、限られた予算の効率的な配分を心掛け、新規の事業をできるだけ抑えていく一方、景気対策を十分に考慮しながら、前年度から継続して行っている事業を着実に推し進めていく方向で作業を進めました。

歳入面では、市民税の特別減税などによって税収の思うような伸びが見込めないことから、不足分は、非常に厳しい財政状況の中ではありますが、基金や市債を有効に活用することで対処したいと考えました。

歳出面では、養護老人ホーム「成章園」と市民文化会館の管理をそれぞれ財団へ移行することをはじめ、経費の全般にわたり徹底した節減を図りました。そうした中で、二十一世紀に向けた、社会・生活基盤の整備を進める必要があります。今年度のおもな事業は、十一月四月にオープン予定の老人福祉総合エリア内の各施設の建設、そして、改築・移転が完了した上川沿小学校の運動場、プールの整備、並びに、ダイオキシン対策関連や各産業への助成金などです。

今年度は、歳出の抑制、市の単独事業の削減など、昨年度よりさらに厳しい状況を迎えます。そのため、市の財政は、国の財政構造計画を受けて、国と同様に、健全化に重点を置きました。そして、経費全般について徹底した見直しを行った結果、一般会計におきましては、前年度当初予算と比べて、マイナスになりました。こうして、今年度の予算編成は、苦心の末、無事に終わることができました。今後は、市民サービスの向上を最優先に掲げて、効率的な予算の執行、市政の運営に努めていきます。

小畑 元